

専門研修プログラム名	宮崎大学医学部附属病院精神科領域	専門研修プログラム
基幹施設名	宮崎大学医学部附属病院	
プログラム統括責任者	平野 羊嗣	

専門研修プログラムの概要	宮崎大学医学部は開講以来自由闊達な気風を大切に、臨床、研究、教育に取り組んでいる。この理念の下、専門医および指定医の育成に努めている。基幹病院の宮崎大学医学部精神科は閉鎖病棟、開放病棟、隔離室を有し、救急部との連携による精神科救急、身体合併症、リエゾン・緩和ケア、児童思春期、老年期、クロザピンや修正型電気けいれん療法を経験できる施設であり、研修の過程でほとんどの精神疾患の診断と治療について基本的な知識を身につけることが可能である。また、全県下の研修連携施設と提携し、地域医療や行政・福祉・司法などの経験を積むことが可能である。大学病院では博士号の取得を目指したスケジュールを組むことも可能である。	
専門研修はどのようにおこなわれるのか	基本的に1年目は基幹施設である大学病院で精神科診療の基礎を学ぶ。希望により地域医療を学ぶために週1回の基幹病院での外勤・当直業務を行い、給与にも加算される。2年目以降は県立精神医療センター、認知症疾患医療センター、児童思春期の専門医療機関、地域の単科精神科病院で研鑽を積む。週に1度の症例検討会において、主に入院患者について治療や問題点を検討し理解を深めることが可能である。また、毎週金曜日に出向中の医師を含む在籍医局員によるセミナーを開催し、基礎／臨床研究、海外の最新の論文、学会発表の予演など多岐にわたる学びを得ることが可能である。	
専攻医の到達目標	修得すべき知識・技能・態度など	先人から連綿と継がれている精神科医療の基本的考えに学び、最新の知見を取り入れ、精神保健の向上と社会福祉に貢献するような態度が望ましい。
	各種カンファレンスなどによる知識・技能の習得	症例カンファレンスへの事前準備を通して、従来からの基本的な精神科の考えに加え、各種ガイドラインや文献による最新の知見も踏まえて、一つ一つの症例を深く理解する。また、病棟での多職種でのカンファレンス、リエゾン・緩和ケアの場におけるミーティングでより深い理解を得る。
	学問的姿勢	年に一度以上の学会発表を経験し、学術雑誌への投稿を目標とする。実践と文献検索による探求が望まれる。
	医師に必要なコアコンピテンシー、倫理性、社会性	患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各方面を総合的に考慮して診断・治療する態度が望まれる。近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全安心な医療を提供する。
施設群による研修プログラムと地域医療についての考察	年次毎の研修計画	1年次は基幹病院で精神科医療の基礎を学ぶ。2年次以降は専攻医の興味にも合わせ、老年期、児童思春期、精神科救急、地域医療などを重点的に学ぶコースも可能である。
	研修施設群と研修プログラム	研修施設群とは年に2回の定例会で協議を行い、医師少数圏も含め、バランスを考慮したローテーションのプログラムを有している。

スナ	地域医療について	宮崎県の医師少数地域は、過疎による高齢化率も高く、医療に加え行政や福祉との連携が不可欠である。この地域医療連携を通じて、精神科医として必要な充実した学びが得られると判断している。
専門研修の評価		3か月ごとにプログラムの進行状況を専攻医と指導医が確認する。6か月ごとに研修目標の達成度を当該研修施設の指導責任者と専攻医が評価しフィードバックする。1年後に年間プログラムの進捗状況と研修目標の達成度を確認し、次年度の計画を作成する。
修了判定		各病院の代表者からのフィードバックを得て総合的に判定し、統括責任者から通知される。
専門研修管理委員会	専門研修プログラム管理委員会の業務	一年に複数回会合を開き（宮崎県精神科医会の場を活用する予定）、専攻医の心身の健康管理、研修目標への進捗状況、プログラムの修正などについて意見交換する。
	専攻医の就業環境	各施設の労務管理基準に準拠する。なお、令和6年4月以降は、医師の働き方改革に準拠する。
	専門研修プログラムの改善	基幹病院の統括責任者と連携施設の指導責任者による委員会にて、定期的にプログラム内容について討議し、継続的な改良を実施する。
	専攻医の採用と修了	基幹病院の統括責任者（宮崎大学医学部精神科科長）と医局長が面接結果に基づき厳正な審査を行い、採用・最終的な修了の適否を判断する。
	研修の休止・中断、プログラム移動、プログラム外研修の条件	病気・産休／育休によるプログラムの中断については、適宜、専門研修管理委員会で議論し、専攻医の不利益にならないように配慮することが可能である。（育休による中断に対応した実績あり）
	研修に対するサイトビジット（訪問調査）	プログラム管理委員会が主導し、各施設における研修状況を評価する。
専門研修指導医 最大で10名までにしてください。 主な情報として医師名、所属、 役職を記述してください。		平野羊嗣（宮崎大学医学部精神科准教授・科長） 船橋英樹（同講師） 古郷央一郎（同助教・救命救急センター配属） 大平洋明（臨床研修センター助教） 河野次郎（県立宮崎病院精神医療センター長） など
Subspecialty領域との連続性		当科では一般病院連携精神医学専門医（精神科リエゾン専門医）の他、日本老年精神医学会専門医、日本緩和医療学会専門医、子どものこころ専門医、日本精神科救急学会認定医の取得が可能である。